

チーム水・日本 宇宙利用 気象・水観測チーム 水情報共有基盤チーム



■2008年に施行された宇宙基本法によって、宇宙開発の目的に新たに産業化が追加されました。

「宇宙利用 気象・水観測チーム」は、「チーム水・日本」を始めとする水ビジネスで効果的、且つ、容易的に衛星を利用して、日本の水ビジネスの優位性をサポートする宇宙施策を政府に、提案していくことを目的としています。
「水情報共有基盤チーム」は、衛星データを含む水情報共有基盤を構築することを目的としています。

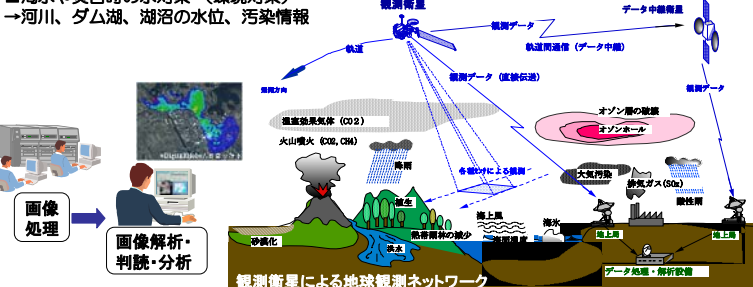
■宇宙利用 気象・観測チーム : 株式会社日立製作所、三菱電機株式会社、株式会社CBMI

■水情報共有基盤チーム : 株式会社日立製作所、株式会社建設技術研究所、株式会社CBMI

気象・水観測等衛星の利用分野

宇宙から見た日本のウォーターソリューション・・・
エネルギーや天然資源のみならず、食料や木材は水に依存。アジア等広域の水循環・降水に支えられており、総合的な水観測が不可欠である。

- チベットなど大陸からの大気が日本の降雨に影響
→日本周辺のみならずアジア圏の気象情報
- ヒートアイランド緩和、水辺整備を目的とした広域の都市計画
→土壌水分量、堆積資源（地質・物性）などの基盤情報
- 渇水や災害時の水対策（環境対策）
→河川、ダム湖、湖沼の水位、汚染情報



各種衛星とデータ利用の例

環境観測衛星・海域観測衛星

- 地球環境変動観測ミッション (GIAZA)
- 海域観測衛星 (GIAZA)
- 熱帯降雨観測衛星 (GIAZA)
- 温室効果ガス観測衛星 (GIAZA)
- 海温・エルニーニョの発生過程 (GIAZA/EORG)
- 黒潮モニタ (GIAZA)
- 海水分布 (GIAZA)
- 降雨モニタ (GIAZA)
- 大気分子モニタ (GIAZA)

気象衛星

- ひまわり (GIAZA)
- 地球規模の気象現象 (GIAZA)
- 台風監視 (GIAZA)

陸域観測衛星

- ALOSシリーズ衛星 (GIAZA)
- 着色部が浸水領域 (GIAZA/EORG)
- 水害監視 (GIAZA/EORG)
- 沿岸監視 (GIAZA)

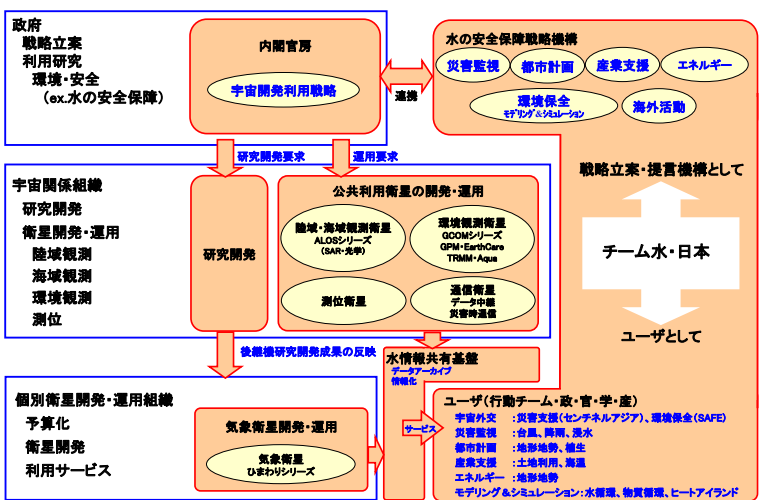
通信衛星

- 携帯通信 (GIAZA)
- データ中継 (GIAZA)

測位衛星

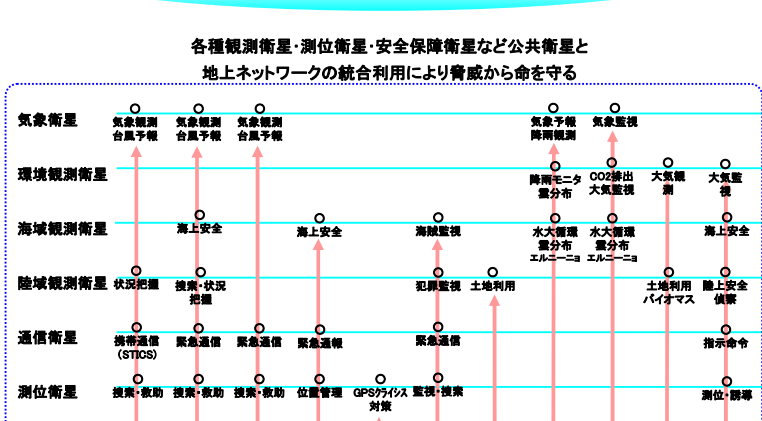
- 測位情報 (GIAZA)

「チーム水・日本」における衛星データ利用スキーム(案)

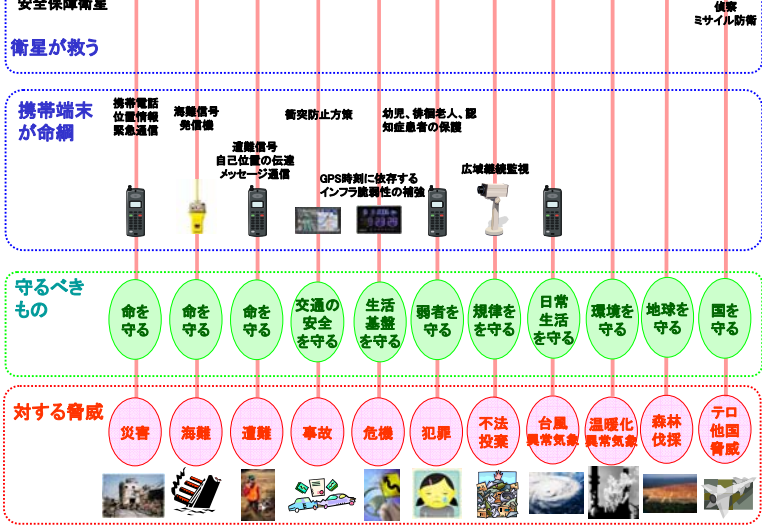
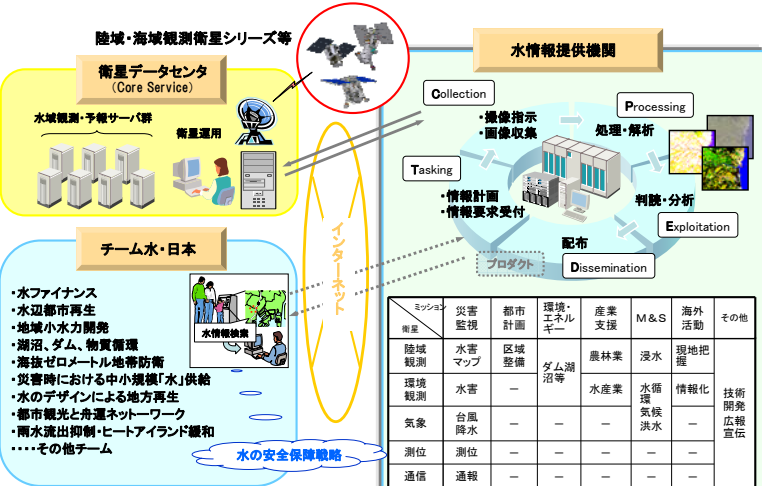


人を守る宇宙インフラの構築

宇宙を利用し携帯端末を命綱に



「水情報共有基盤」によるデータ利用の具体化構想



イラストはWEBから引用